

# 道

## 道路事業

### 直轄事業

# 地域を元気にする 高速交通ネットワーク、広がる。

## 津島道路 (高規格幹線道路)



内海IC (仮称) 付近



津島南IC (仮称) 付近



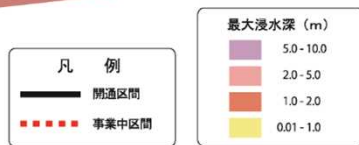
津島岩松IC 付近

## 災害時の代替路として活躍します

南海トラフ巨大地震などの大規模災害による国道56号の分断を広域交通ネットワークにより回避し、救命・救助活動、早期の災害復旧や物資輸送に必要な信頼性の高い代替路「命の道」として大きな役割を果たします。



国道56号 (須ノ川地区) 越波状況



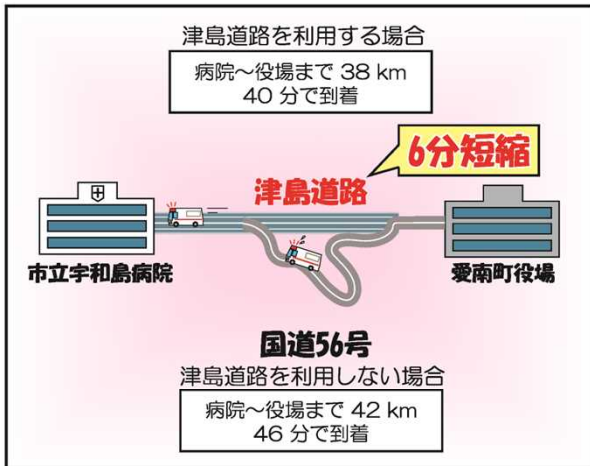
出典：愛媛県地震被害想定調査結果 (第一次報告) 平成25年6月10日  
※浸水深とは、浸水域の地面から水面までの高さ (深さ)

## 第三次医療施設への搬送時間が短縮されます

津島道路が延伸することで、愛南町役場から市立宇和島病院(第三次医療施設※)への搬送時間が約6分短縮され、救命率の向上につながります。

宇和島市以南には救命救急を担う第三次医療施設がなく、愛南町では第三次医療施設に60分で到達できない地域が存在しています。

※第三次医療施設とは、重傷および複数の診療領域にわたるすべての重篤な緊急患者に対し、24時間体制で高度な救急医療を提供する医療機関です。



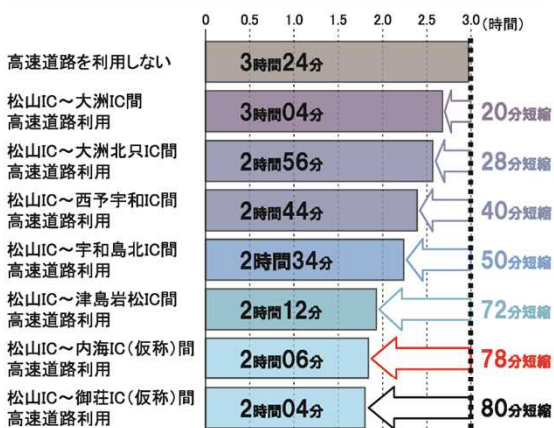
※高速道路(事業中間区間)の走行速度は V=70km/h に設定  
 ※国道56号、高速道路(開通区間)の走行速度は ETC2.0プローブ(R3.10月 混雑時平均速度)より算出

凡例：第三次医療60分圏域  
 ← 現状 ← 津島道路開通時 ← 事業中間区間開通時

## 広域交通ネットワークがつながります

松山から南予地域に向けて広域交通ネットワークが整備されることにより、愛媛県庁～愛南町役場間は、国道56号を利用する場合に比べて最大80分短縮されます。

### 愛媛県庁～愛南町役場までの所要時間



※高速道路(事業中間区間)の走行速度は V=70km/h に設定  
 ※国道56号、高速道路(開通区間)の走行速度はETC2.0プローブ(R3.10月 混雑時平均速度)より算出

●令和5年度の予定  
 用地買収、改良工事、トンネル工事を推進します。



# 道

## 道路事業

### 直轄事業

# 地域を元気にする 高速交通ネットワーク、広がる。

## 宿毛内海道路(御荘～内海・宿毛新港～一本松)

### 事業の概要

一般国道56号宿毛内海道路(御荘～内海・宿毛新港～一本松)は、津島道路等と連結し、四国8の字ネットワークの一部を形成することにより、災害時における緊急輸送道路の代替路の確保や医療施設までの速達性向上、地域の産業や観光の活性化を図ることを目的とする事業です。

### 路線概要

- 事業名** 一般国道56号 宿毛内海道路  
(御荘～内海・宿毛新港～一本松)
- 延長等** 御荘～内海(7.6km)・宿毛新港～一本松(4.7km)  
第1種第3級、設計速度 80km/h
- 車線数** 2車線(自動車専用道路)

### 経緯

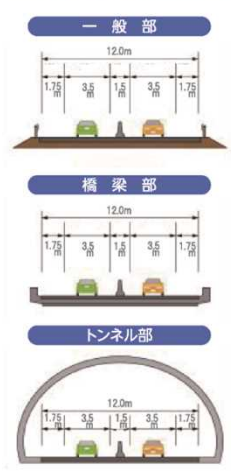
- ▶ H28年度 計画段階評価着手
- ▶ H31年2月28日 計画段階評価手続き完了
- ▶ R3年12月10日 都市計画決定
- ▶ R4年度 事業化



### 完成イメージ



### 標準断面図





## 国道56号 肱川橋橋梁架替(令和4年3月12日交通切替)



### 現状と対策等

国道56号は第1次緊急輸送道路\*として位置付けられており、 肱川橋はその重要な路線の一部を担うと共に肱川兩岸の中心市街地を結ぶ重要な橋梁です。一方で、肱川橋は大正2年竣工後、下部工は100年以上経過したため老朽化が進み、耐震性能の不足や治水上の問題が発生していました。

肱川橋を架替えることで、耐震性能や河川阻害等治水上の問題を改善させると共に、自転車歩行者道の幅員を広げることで、利用者の安全性が向上します。

また、当該地域は大洲市景観計画区域に指定されており、五代目肱川橋は景観に配慮した新しい橋梁です。

\*主要な都市間や他県及び諸活動の拠点等を相互に連絡する広域的な幹線道路

### 効果

- 大洲市中心市街地における安全・安心な生活幹線道路を確保します。
- 地震時の耐震性能が向上し、信頼性の高い緊急輸送道路が確保されます。
- 橋脚数が現在より少なくなるため河川阻害率が改善され、一級河川肱川の治水上の安全性が向上します。
- 自転車歩行者道の幅員が現在よりも広くなりすれ違いが容易になるため、歩行者・自転車など利用者の安全性が向上します。



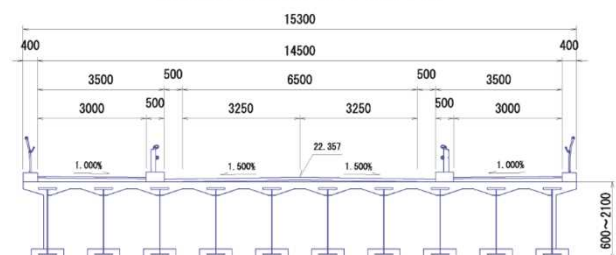
### 経緯

- 平成21年度事業化
- 平成21年9月8日 第一回肱川橋周辺まちづくり検討委員会
- 平成21年12月18日 第二回肱川橋周辺まちづくり検討委員会
- 平成23年7月28日 第三回肱川橋周辺まちづくり検討委員会
- 平成24年度 用地買収に着手
- 平成25年度 用地買収推進
- 平成26年度 用地買収完了
- 平成27年度 迂回路仮橋設置工事着手
- 平成28年度 迂回路仮橋供用
- 平成29年度 新橋梁工事着手
- 平成29年12月22日 第四回肱川橋周辺まちづくり検討委員会
- 令和4年3月12日 五代目肱川橋交通切替

- 令和5年度の予定 迂回路(仮橋)撤去工事を推進します。



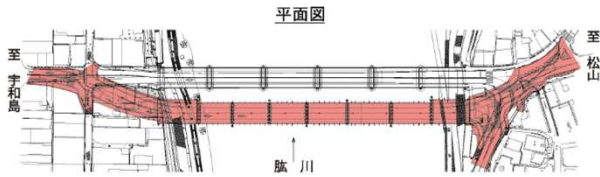
肱川橋(新設)標準断面図



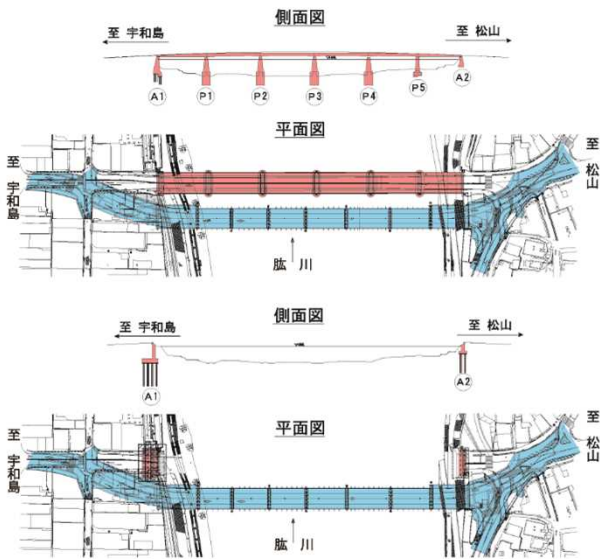
## 施工順序

凡例	
	工事対象
	完了

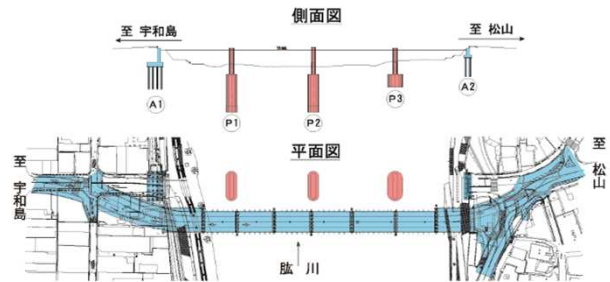
### STEP1 迂回路(仮橋)設置



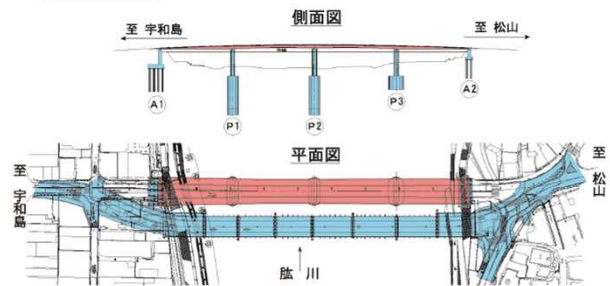
### STEP2 現橋撤去(上部工、橋台2基、橋脚5基) 新設 橋台2基(A1、A2)設置



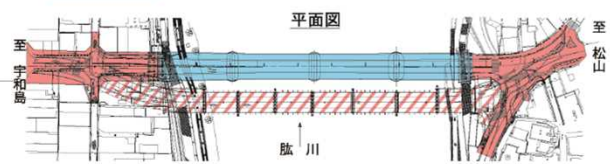
### STEP3 新設 橋脚3基(P1~P3)設置



### STEP4 新設 上部工



### STEP5 迂回路(仮橋)撤去



## 肱川橋の歴史

### 初代 肱川橋

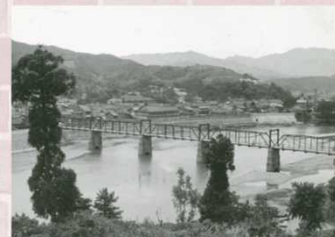
大正2年9月完成。構造詳細は不明ですが、上部工は鋼製の下路トラス橋で、橋脚は煉瓦積みと見られます。



出典：文化歴史資料館

### 二代目 肱川橋

昭和18年頃の写真では、上部工をケーブルで吊る補強を加えています。幅員は5~6mです。



出典：新南予の夜明け 大洲河川国道事務所

### 三代目 肱川橋

昭和36年に2車線のプレートガーダー橋に架け替えられ、橋脚はコンクリート製となりました。



出典：新南予の夜明け 大洲河川国道事務所

### 四代目 肱川橋

昭和42年に、主桁増設によって下流側に向かって2.5mの拡幅を実施しました。



出典：新南予の夜明け 大洲河川国道事務所